

イベント判定用紙の 記入方法(脳卒中)

赤地の①～⑤の順番にチェック・記入してください。

薄緑地は必要があれば記入してください。

NIPPON DATA2010研究 イベント判定用紙 発症ID S000

ID 13000000 男性

イベント種類 **脳卒中** 受領日 平成26/05/16

施設名 国立大学法人滋賀医科大学附属病院

① 判定診断名

注：イベントの種類にかかわらず、医学的な診断名を記入してください。診断取り消しの場合は診断名「なし」と記入してください。

② 発生日 平成 / /

①医学的な判定診断名を記入してください。診断が取り消される場合、診断名として「なし」と書いてください。

③ 判定診断の確実性

- ☐ 診断確定
- ☐ 保留
- ☐ 可能性が高いが、不確か
(これ以上の確拠は困難)
- ☐ 該当せず：イベントではない
- ☐ 該当せず：疾病ではない
(疑診・取り消し例)
- ☐ その他

③' 確定に必要な検査・情報

②医療機関の判定した発症日を和暦で入れてください。

③判定結果として、どれか一つのみに必ずチェックを入れてください。

④ 判定年月日 平成 / /

⑤ 判定者 (印)

判定保留の場合、どういった情報が追加であれば良いか、簡潔に項目を書いてください。

他の診断名

注：あれば診断名を記載して、右の備考欄に「判定発生日」「確実性」など、上記に準じて記入してください。

備考

発症ID S000

④⑤本日の日付と、判定者のお名前を入れてください。お名前が直筆でしたら押印は不要です。

万が一、他のイベントフォームに該当する診断名がある場合、こちらに詳細をご記入ください。イベント対象外の疾患がありましたら、疾患名・発症(推定)日を書いてください。

イベント判定用紙の 記入方法(心疾患)

赤地の①～⑤の順番にチェック・記入してください。

薄緑地は必要があれば記入してください。

NIPPON DATA2010研究 イベント判定用紙 発症ID H000

ID 13000000 男性

イベント種類 心疾患 受領日 平成26/05/16

施設名 国立大学法人滋賀医科大学附属病院

① 判定診断名

註：イベントの種類にかかわらず、医学的な診断名を記入してください。診断取り消しの場合は診断名「なし」と記入してください。

② 発生日 平成 / /

①医学的な判定診断名を記入してください。診断が取り消される場合、診断名として「なし」と書いてください。

③ 判定診断の確実性

- 診断確定
- 保留
- 可能性が高いが、不確か
(これ以上の確認は困難)
- 該当せず：イベントではない
- 該当せず：疾病ではない
(疑診・取り消し例)
- その他

③' 確定に必要な検査・情報

②医療機関の判定した発症日を和暦で入れてください。

③判定結果として、どれか一つのに必ずチェックを入れてください。

④ 判定年月日 平成 / /

⑤ 判定者 (印)

備考

他の診断名

註：あれば診断名を記載して、右の備考欄に「判定発生日」「確実性」など、上記に準じて記入してください。

判定保留の場合、こういった情報が追加であれば良いか、簡潔に項目を書いてください。

発症ID H000

④⑤本日の日付と、判定者のお名前を入れてください。お名前が直筆でしたら押印は不要です。

万が一、他のイベントフォームに該当する診断名がある場合、こちらに詳細をご記入ください。イベント対象外の疾患がありましたら、疾患名・発症(推定)日を書いてください。

イベント判定用紙の 記入方法(糖尿病)

赤地の①～⑤の順番にチェック・記入してください。

薄緑地は必要があれば記入してください。



NIPPON DATA2010研究 イベント判定用紙

発症ID D000

ID 13000000 男性

イベント種類 糖尿病

受領日 平成26/05/16

施設名 国立大学法人滋賀医科大学附属病院

① 判定診断名

注：イベントの種類にかかわらず、医学的な診断名を記入してください。診断取り消しの場合は診断名「なし」と記入してください。

② 発生日 平成 / /

③ 判定診断の確実性

- ☐ 診断確定
- ☐ 保留
- ☐ 可能性が高いが、不確か
(これ以上の確認は困難)
- ☐ 該当せず：イベントではない
- ☐ 該当せず：疾病ではない
(疑診・取り消し例)
- ☐ その他

③' 確定に必要な検査・情報

④ 判定年月日 平成 / /

⑤ 判定者 (印)

備考

他の診断名

注：あれば診断名を記載して、右の備考欄に「判定発生日」「確実性」など、上記に準じて記入してください。

発症ID D000

①医学的な判定診断名を記入してください。診断が取り消される場合、診断名として「なし」と書いてください。

②医療機関の判定した発症日を和暦で入れてください。

③判定結果として、どれか一つのに必ずチェックを入れてください。

判定保留の場合、どういった情報が追加であれば良いか、簡潔に項目を書いてください。

④⑤本日の日付と、判定者のお名前を入れてください。お名前が直筆でしたら押印は不要です。

万が一、他のイベントフォームに該当する診断名がある場合、こちらに詳細をご記入ください。イベント対象外の疾患がありましたら、疾患名・発症(推定)日を書いてください。

NIPPON DATA2010

- 171 -

国民生活基礎調査【世帯票】

厚生労働省

(平成22年 6 月 3 日調査)

調査員記入欄

地区 番号						単位区 番 号				世帯 番号			
----------	--	--	--	--	--	------------	--	--	--	----------	--	--	--

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。
秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

く 記入上の注意 く

- ・『（世帯票・健康票）記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・選択肢は指示がない場合は、あてはまる番号1つに○をつけてください。
- ・数字は右づめで記入してください。
- ・できるだけ黒のボールペンで記入してください。

あなたの世帯について、平成22年 6 月 3 日現在の状況をお答えください。

- ・世帯とは、ふだん住居と生計を共にしている人々（世帯員）の集まりをいいます。
 - ・世帯員には、旅行や出張などで一時的（3か月以内）に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含みます。

また、病院に入院している人も含みますが、住民登録を病院に移している人は除きます。さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

I 世帯の状況

質問1 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。
(一時的に不在の方を含みます。)

人

1人（単独世帯）の場合は、補問1-1にもお答えください。

補問1-1 1人（単独世帯）の方の場合は、その状況についてお答えください。

【単独世帯の状況】

1 住み込み、寄宿舍等に居住する単独世帯

2 その他の単独世帯

→

【単身赴任か否か】

1 単身赴任者である

2 単身赴任者でない

質問2 現在は、単身赴任などで世帯を離れているが、その前は、一緒にお住まいで生計を共にしていた方がいる場合は、あてはまるすべての番号に○をつけ、それぞれの人数を記入してください（いない場合は、6に○をつけてください。）。

1 単身赴任で世帯を離れている者がいる	→		人
2 学業のため世帯を離れている者がいる	→		人
3 老人福祉施設に入所している者がいる	→		人
4 社会福祉施設(老人福祉施設を除く。)に入所している者がいる	→		人
5 病院に長期入院している(住民登録を病院に移している。)者がいる	→		人
6 1～5の者はいない			

※ 1～5に該当する方は、この調査の世帯員とはなりませんので、質問1の人数には含めないでください。

裏面に続きます。

質問3 お住まいの住居の種類と建て方についてお答えください。

【住居の種類】 1 持ち家 2 民間賃貸住宅 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅 4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅 5 借間・その他	→	【建て方】 1 一戸建て 2 共同住宅 (マンション、アパート等)
---	---	---

質問4 お住まいの住居の室数について、居住用の部屋数（玄関や風呂等は含めないでください。）を記入してください。
また、床面積は、玄関や廊下等も含めた住宅全体のおおよその床面積を記入してください。

【室数】 室	【床面積】 ㎡	※ 床面積の換算 1 坪＝3.3㎡ 2 畳＝3.3㎡
---	---	---

質問5 5月中の家計支出総額（世帯の方全員の支出金額の合計額）を記入してください。

万円	※ 以下の費用は家計支出には含めないでください。 税金、社会保険料、事業上の支払い（農家における肥料や農具、商店における商品の仕入れに使った金等）、貯蓄、借金や住宅ローンなどの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料
--	--

補問5-1 小学校入学前の方がいる場合は、5月中の家計支出総額のうち、育児にかかった費用を記入してください。

万	※ 育児にかかった費用とは、ミルク代、離乳食代、医療費、保育料、習い事の費用、衣服費、おもちゃ代、その他育児にかかった費用のすべてが入ります。
---	--

補問5-2 5月中の家計支出総額のうち、別居している親又は子への仕送りの状況をお答えください。

仕送りの目的については、あてはまるすべての番号に○をつけてください。

別居している親がいる ↳ 1 仕送りあり ↳ 2 仕送りなし 3 別居している親はいない	【仕送りの目的】 1 入所・入院費 2 その他	【仕送り額】 万円
別居している子がいる ↳ 1 仕送りあり ↳ 2 仕送りなし 3 別居している子はいない	【仕送りの目的】 1 学 業 2 その他	【仕送り額】 万円

引き続き「Ⅱ 世帯員の状況」についてもお答えください。

Ⅱ 世帯員の状況

- すべての世帯員の方について、ひとり一列で記入してください。
- 世帯員の記入順序は、夫婦・親子の関係がある方を順に並べて記入してください。
- 選択肢は指示がない場合は、あてはまる番号1つに○をつけ、数字は右づめで記入してください。

調査員記入欄

地区 番号		単位区 番号		世帯 番号	
----------	--	-----------	--	----------	--

質問1 最多所得者 調査日前1年間で所得(年金、仕送り等を含む)が最も多かった方1名の世帯員番号に○をつけてください。	(世帯員番号) 01	(世帯員番号) 02	(世帯員番号) 03
質問2 世帯主との続柄 世帯主の配偶者(夫又は妻)の祖父母・兄弟姉妹はそれぞれ「09 祖父母」「10 兄弟姉妹」に含めます。兄弟姉妹の配偶者は「10 兄弟姉妹」に含めます。「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。	01 世帯主 07 世帯主の父母 02 世帯主の配偶者 08 配偶者の父母 03 子 09 祖父母 04 子の配偶者 10 兄弟姉妹 05 孫 11 その他の親族 06 孫の配偶者 12 その他(親族以外)	02 世帯主の配偶者 08 配偶者の父母 03 子 09 祖父母 04 子の配偶者 10 兄弟姉妹 05 孫 11 その他の親族 06 孫の配偶者 12 その他(親族以外)	02 世帯主の配偶者 08 配偶者の父母 03 子 09 祖父母 04 子の配偶者 10 兄弟姉妹 05 孫 11 その他の親族 06 孫の配偶者 12 その他(親族以外)
質問3 性	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
質問4 出生年月	1 明治 3 昭和 年 月 2 大正 4 平成 年 月	1 明治 3 昭和 年 月 2 大正 4 平成 年 月	1 明治 3 昭和 年 月 2 大正 4 平成 年 月
質問5 配偶者(夫又は妻)の有無 「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別
質問6 医療保険の加入状況 保険証又は組合員証で確認してお答えください。	国民健康保険 → 1 市町村 2 組合 被用者保険(協会けんぽ、組合健保、共済組合等) → 3 加入者本人 4 家族(被扶養者) 5 後期高齢者医療制度(長寿医療制度) 6 その他	国民健康保険 → 1 市町村 2 組合 被用者保険(協会けんぽ、組合健保、共済組合等) → 3 加入者本人 4 家族(被扶養者) 5 後期高齢者医療制度(長寿医療制度) 6 その他	国民健康保険 → 1 市町村 2 組合 被用者保険(協会けんぽ、組合健保、共済組合等) → 3 加入者本人 4 家族(被扶養者) 5 後期高齢者医療制度(長寿医療制度) 6 その他
質問7 公的年金・恩給の受給状況 受給している場合、受給している年金等のすべての番号に○をつけてください。 なお、老齢年金のほか、障害年金、遺族年金なども含めてお答えください。	受給している 1 基礎年金 2 基礎年金と厚生年金 3 基礎年金と共済年金 4 国民年金 7 共済年金 5 福祉年金 8 恩給 6 厚生年金 9 その他 10 受給していない	受給している 1 基礎年金 2 基礎年金と厚生年金 3 基礎年金と共済年金 4 国民年金 7 共済年金 5 福祉年金 8 恩給 6 厚生年金 9 その他 10 受給していない	受給している 1 基礎年金 2 基礎年金と厚生年金 3 基礎年金と共済年金 4 国民年金 7 共済年金 5 福祉年金 8 恩給 6 厚生年金 9 その他 10 受給していない

小 学 校 入 学 前 の 方 へ の 質 問

質問8 乳幼児(小学校入学前)の保育状況 日中に保育をしている方及び乳幼児が通所・通園している施設のすべての番号に○をつけてください。	1 乳幼児の父母 5 幼稚園 2 乳幼児の祖父母 6 その他 3 認可保育所 4 認可外保育施設	1 乳幼児の父母 5 幼稚園 2 乳幼児の祖父母 6 その他 3 認可保育所 4 認可外保育施設	1 乳幼児の父母 5 幼稚園 2 乳幼児の祖父母 6 その他 3 認可保育所 4 認可外保育施設
--	---	---	---

6 歳 以 上 の 方 へ の 質 問 (6 歳 未 満 の 方 は 質 問 終 了 で す 。)

質問9 手助けや見守りの要否 手助けや見守りを必要としていますか。	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としない 裏面の質問10へ。 15歳未満の方は 質問終了です。	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としない 裏面の質問10へ。 15歳未満の方は 質問終了です。	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としない 裏面の質問10へ。 15歳未満の方は 質問終了です。
--------------------------------------	---	---	---

手 助 け や 見 守 り を 必 要 と し て い る 方 へ の 質 問

補問9-1 日常生活の自立の状況 最もあてはまる状況の番号1つに○をつけてください。	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する
補問9-2 期間 補問9-1で答えた自立の状況になってからの期間をお答えください。	1 1月未満 6 3～5年未満 2 1～3月未満 7 5～10年未満 3 3～6月未満 8 10～20年未満 4 6月～1年未満 9 20年以上 5 1～3年未満	1 1月未満 6 3～5年未満 2 1～3月未満 7 5～10年未満 3 3～6月未満 8 10～20年未満 4 6月～1年未満 9 20年以上 5 1～3年未満	1 1月未満 6 3～5年未満 2 1～3月未満 7 5～10年未満 3 3～6月未満 8 10～20年未満 4 6月～1年未満 9 20年以上 5 1～3年未満
補問9-3 要介護認定の有無 この質問は40歳以上の方のみお答えください。 実際にサービスを受けているかどうかは問いません。	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない

主に手助けや見守りをしている方はどなたですか。(質問9で手助けや見守りを「1 必要としている」と回答した方への質問)

補問9-4 同別居の状況 主に手助けや見守りをしている方が同居している場合は、その方の世帯員番号(最上級の番号)を記入してください。	主に手助けや見守りをしている方は 1 同居している 2 同居していない 【世帯員番号】	主に手助けや見守りをしている方は 1 同居している 2 同居していない 【世帯員番号】	主に手助けや見守りをしている方は 1 同居している 2 同居していない 【世帯員番号】
補問9-5 手助けや見守りが必要な方からみた続柄 手助けや見守りが必要な方ご本人からみた続柄をお答えください。	1 配偶者 5 その他の親族 2 子 6 事業者(ホームヘルパー等) 3 子の配偶者 7 その他(ボランティア・近所の人など) 4 父母	1 配偶者 5 その他の親族 2 子 6 事業者(ホームヘルパー等) 3 子の配偶者 7 その他(ボランティア・近所の人など) 4 父母	1 配偶者 5 その他の親族 2 子 6 事業者(ホームヘルパー等) 3 子の配偶者 7 その他(ボランティア・近所の人など) 4 父母
補問9-6 手助けや見守りをしている方の性	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女

裏面に続きます。(15歳未満の方は質問終了です。)

表面の世帯員番号と同じ列に記入してください。

(世帯員番号)	01	02	03
質問10 教育	15 歳 以 上 の 方 へ の 質 問 「在学中」の方はその学校について、「卒業」の方は最終卒業学校（中途退学をした方はその前の学校）についてお答えください。 予備校などはここでいう学校には含めません。	1 在学中 2 卒業 3 在学したことがない	1 小学・中学 2 高校・旧制中 3 専門学校 4 短大・高専 5 大学 6 大学院
質問11 公的年金の加入状況	公的年金に加入している 加入している 20歳以上、60歳未満の方は原則として加入しています 加入していない 20歳未満で仕事をしていない方、すでに老齢年金又は退職年金を受給している方、受給資格があるが受給待ちの方などが該当します。	1 国民年金第1号被保険者（自営業者や学生等） 2 国民年金第2号被保険者（厚生年金・共済年金の加入者） 3 国民年金第3号被保険者（第2号被保険者の配偶者） 4 公的年金に加入していない	1 国民年金第1号被保険者（自営業者や学生等） 2 国民年金第2号被保険者（厚生年金・共済年金の加入者） 3 国民年金第3号被保険者（第2号被保険者の配偶者） 4 公的年金に加入していない
質問12 別居している子の有無	別居している子が 1 いる 2 いない →（質問13へ）	別居している子が 1 いる 2 いない →（質問13へ）	別居している子が 1 いる 2 いない →（質問13へ）
補問12-1 最も近くに住んでいる別居の子の居住地	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域
質問13 5月中の仕事の状況	収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」、まったく仕事をしなかった方は「仕事なし」の中からお答えください。 無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児や介護のため、一時的に仕事を休んでいる場合も「仕事あり」とします。 なお、PTA役員やボランティアなど無報酬の活動は「仕事なし」とします。	仕事あり 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 仕事なし 5 通学のみ 6 家事（専業） 7 その他 （質問18へ）	仕事あり 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 仕事なし 5 通学のみ 6 家事（専業） 7 その他 （質問18へ）

質問13で「1」～「4」（仕事あり）と回答した方への質問

質問14 1週間の就業日数等	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 日 【就業時間】 1週間の就業も含めた総時間 時間	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 日 【就業時間】 1週間の就業も含めた総時間 時間	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 日 【就業時間】 1週間の就業も含めた総時間 時間
----------------	---	---	---

現在の主な仕事について

質問15 就業開始時期	主な仕事について、その仕事について時期をお答えください。	1 大正 年 月 2 昭和 年 月 3 平成 年 月	1 大正 年 月 2 昭和 年 月 3 平成 年 月	1 大正 年 月 2 昭和 年 月 3 平成 年 月
質問16 仕事の内容（職業分類）	主な仕事について、お答えください。	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・探掘従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・探掘従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・探掘従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業
質問17 勤めか自営かの別	主な仕事について、お答えください。 5, 6, 7 と答えた方は下の補問17-1, 17-2をお答えください。	1 自営業主（雇人あり） 2 自営業主（雇人なし） 3 家族従業者（自家営業の手伝い） 4 会社・団体等の役員 5 一般常雇者（契約期間が1年以上又は雇用期間の定めのない者） 6 1月以上1年未満の契約の雇用者 7 日々又は1月未満の契約の雇用者 8 内職 9 その他（質問終了です。）	1 自営業主（雇人あり） 2 自営業主（雇人なし） 3 家族従業者（自家営業の手伝い） 4 会社・団体等の役員 5 一般常雇者（契約期間が1年以上又は雇用期間の定めのない者） 6 1月以上1年未満の契約の雇用者 7 日々又は1月未満の契約の雇用者 8 内職 9 その他（質問終了です。）	1 自営業主（雇人あり） 2 自営業主（雇人なし） 3 家族従業者（自家営業の手伝い） 4 会社・団体等の役員 5 一般常雇者（契約期間が1年以上又は雇用期間の定めのない者） 6 1月以上1年未満の契約の雇用者 7 日々又は1月未満の契約の雇用者 8 内職 9 その他（質問終了です。）
補問17-1 勤め先での呼称	「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいいます。	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員・嘱託 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員・嘱託 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員・嘱託 6 その他
補問17-2 企業規模・官公庁の別	本社・本店や出張所などを含めた企業全体の従業員数をお答えください。 「官公庁」とは国の機関や地方自治体をいいます。	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人

質問13で「5」～「7」（仕事なし）と回答した方への質問

質問18 就業希望の有無	収入を伴う仕事を 1 したいと思っ ている 2 したいと思っ ていない （質問終了です。）	収入を伴う仕事を 1 したいと思っ ている 2 したいと思っ ていない （質問終了です。）	収入を伴う仕事を 1 したいと思っ ている 2 したいと思っ ていない （質問終了です。）
補問18-1 どのような形で仕事をしたいと 思いますか 最もしたいと思う仕事の形の番号1つに ○をつけてください。現在仕事を探してい ない方でも、仕事につくとしたらどのよう な形で仕事をしたいかをお答えください。	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他
補問18-2 すぐにでも仕事につけますか	すぐに仕事に 1 つける 2 につけない	すぐに仕事に 1 つける 2 につけない	すぐに仕事に 1 つける 2 につけない
補問18-3 仕事を探 していますか 現在採用結果を待っ ている方も「探してい る」に○をつけてくだ さい。	仕事を 1 探している 2 探していない	仕事を 1 探している 2 探していない	仕事を 1 探している 2 探していない
補問18-4 仕事につ けない理由 あてはまるすべての 番号に○をつけ てください。	【仕事につけない理由】 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他	【仕事につけない理由】 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他	【仕事につけない理由】 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他

ご協力ありがとうございました。

国民生活基礎調査【健康票】

(平成22年6月3日調査)

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。
秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

＜記入上の注意＞

- ・ この調査票は、世帯の方全員が**1人1冊**ずつ、記入してください。
- ・ 『(世帯票・健康票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・ もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・ 選択肢はあてはまる番号1つ、又はあてはまるすべての番号に○をつけてください。
- ・ 数字は右づめで記入してください。
- ・ ご自分で記入できない方については、ご家族の方、又は介護をしている方が記入を手伝ってください。
- ・ できるだけ黒のボールペンで記入してください。

質問1 あなたの性・出生年月を記入してください。性・元号は、**あてはまる番号1つ**に○をつけ、出生年月には数字を**右づめ**で記入してください。

性	出 生 年 月			
1 男	1 明治	3 昭和		
2 女	2 大正	4 平成		

調査員記入欄									
地区番号					単位区番号			世帯番号	

質問2 あなたは**現在**、病院や診療所に入院中、又は、介護保険施設に入所中ですか。

- 1 はい
2 いいえ

質問5へ

※ 介護保険施設とは、介護療養型医療施設、
介護老人保健施設及び介護老人福祉施設をいいます。

質問3 あなたは**ここ数日**、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。

- 1 ある 2 ない

質問4へ

補問3-1 それは、どのような症状ですか。**あてはまるすべての**症状名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる症状名の番号を番号記入欄に記入してください。

全身症状	01 熱がある	呼吸器系	15 せきやたんが出る	筋骨格系	29 肩こり	
	02 体がだるい		16 鼻がつまる・ 鼻汁が出る		30 腰痛	
	03 眠れない		17 ゼイゼイする		31 手足の関節が痛む	
	04 いろいろしやすい		18 胃のもたれ・ むねやけ		32 手足の動きが悪い	
	05 ものを忘れする		19 下痢		33 手足のしびれ	
	06 頭痛		20 便秘		34 手足が冷える	
眼	07 めまい	消化器系	21 食欲不振	尿路生殖器官系	35 足のむくみやだるさ	
	08 目のかすみ		22 腹痛・胃痛		36 尿が出にくい・ 排尿時痛い	
耳	09 物を見づらい		23 痔による痛み・ 出血など		37 頻尿(尿の出る回数が多い)	
	10 耳なりがする		歯		24 歯が痛い	損傷
11 きこえにくい	25 歯ぐきのはれ・出血				39 月経不順・月経痛	
胸部	12 動悸		26 かみにくい		40 骨折・ねんざ・ 脱臼	
	13 息切れ	皮膚	27 発疹(じんま疹・できもの など)	41 切り傷・やけどなどの けが		
14 前胸部に痛みが ある	28 かゆみ(湿疹・水虫など)		42 その他			

最も気になる症状の番号記入欄 → 番

補問3-2 最も気になる症状に対して、なんらかの治療をしていますか。
あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- 1 病院・診療所に通っている（往診、訪問診療を含む）
- 2 あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）にかかっている
- 3 売薬をのんだり、つけたりしている
- 4 それ以外の治療をしている
- 5 治療をしていない

質問4 あなたは**現在**、傷病（病気やけが）で病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っていますか。（往診、訪問診療を含む。）

1 通っている 2 通っていない

質問5へ

補問4-1 どのような傷病（病気やけが）で通っていますか。**あてはまるすべての**傷病名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる傷病名の番号を番号記入欄に記入してください。

内分泌・代謝障害	01 糖尿病 02 肥満症 03 高脂血症 (高コレステロール血症等) 04 甲状腺の病気	呼吸器系	15 急性鼻咽頭炎(かぜ) 16 アレルギー性鼻炎 17 喘息 18 その他の呼吸器系の病気	泌尿生殖系	31 腎臓の病気 32 前立腺肥大症 33 閉経期又は閉経後障害 (更年期障害等)
精神・神経	05 うつ病やその他の こころの病気 06 認知症 07 パーキンソン病 08 その他の神経の病気 (神経痛・麻痺等)	消化器系	19 胃・十二指腸の病気 20 肝臓・胆のうの病気 21 その他の消化器系の病気	損傷	34 骨折 35 骨折以外のけが・ やけど
	09 眼の病気 10 耳の病気	皮膚	22 歯の病気 23 アトピー性皮膚炎 24 その他の皮膚の病気		36 貧血・血液の病気 37 悪性新生物 (がん) 38 妊娠・産褥 (切迫流産、前置胎盤等)
循環器系	11 高血圧症 12 脳卒中 (脳出血、脳梗塞等) 13 狭心症・心筋梗塞 14 その他の循環器系の 病気	筋骨格系	25 痛風 26 関節リウマチ 27 関節症 28 肩こり症 29 腰痛症 30 骨粗しょう症		39 不妊症 40 その他 41 不明

最も気になる傷病の
番号記入欄 → 番

質問5 あなたは、**5月中**に病気やけが、予防で支払った費用(介護保険の利用者負担は含まれません。)はありましたか。支払った費用があった場合は、千円未満を**四捨五入**して**右づめ**で記入してください。

(例：支払った費用が、1～499円の場合は「0千円」、500～1499円の場合は「1千円」になります。)

病気やけがで支払った費用 〔例：病院、診療所、保険薬局などで支払った費用、市販の薬や包帯〕	1 あ る → 万 千円 2 な い
病気の予防で医療機関等に支払った費用 〔人間ドックや健診の受診、保健指導、予防接種のために支払った費用〕	1 あ る → 万 千円 2 な い

注：1) 正常な妊娠・分娩のために支払った費用は含みません。
2) お子さま方たちの費用を、保護者の方などが支払われた場合には、お子さま方たちの調査票にその費用を計上してください。

6歳未満の方及び入院、又は、介護保険施設に入所の方は質問終了です。

6 歳以上の方

ここからの質問は、6 歳以上の方がお答えください。

質問6 あなたは**現在**、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1 ある 2 ない → 質問7へ

補問6-1 それはどのようなことに影響がありますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など） | 4 運動（スポーツを含む） |
| 2 外出（時間や作業量などが制限される） | 5 その他 |
| 3 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される） | |

質問7 過去 1 か月の間に、健康上の問題で床についたり、普段の活動ができなかった（仕事・学校を休んだ、家事ができなかった等）日数はどれくらいありましたか。日数を**右づめ**で記入してください。

1 ない 2 ある → 合計 日

質問8 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

12 歳以上の方

ここからの質問は、12 歳以上の方がお答えください。
(12 歳未満の方は質問終了です。)

質問9 あなたは**現在**、日常生活で悩みやストレスがありますか。

1 ある 2 ない → 質問10へ

補問9-1 それは、どのような原因ですか。あてはまるすべての原因の番号に○をつけてください。その中で最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 01 家族との人間関係 | 12 妊娠・出産 |
| 02 家族以外との人間関係 | 13 育児 |
| 03 恋愛・性に関すること | 14 家事 |
| 04 結婚 | 15 自分の学業・受験・進学 |
| 05 離婚 | 16 子どもの教育 |
| 06 いじめ、セクシュアル・ハラスメント | 17 自分の仕事 |
| 07 生きがいに関すること | 18 家族の仕事 |
| 08 自由にできる時間がない | 19 住まいや生活環境
(公害、安全及び交通事情を含む) |
| 09 収入・家計・借金等 | 20 その他 |
| 10 自分の病気や介護 | 21 わからない |
| 11 家族の病気や介護 | |

最も気になる悩みやストレスの番号記入欄 → 番

補問9-2 悩みやストレスを、どのように相談していますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。また、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談していますか。あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

01 家族に相談している

02 友人・知人に相談している

03 職場の上司、学校の先生に相談している

04 公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している

05 民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している

06 病院・診療所の医師に相談している

07 テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している

08 01~07以外で相談している(職場の相談窓口等)

09 相談したいが誰にも相談できないでいる

10 相談したいがどこに相談したらよいかわからない

11 相談する必要はないので誰にも相談していない

最も気になる悩みやストレスの相談状況の番号記入欄 → 番

質問10 次のそれぞれの質問について、過去1か月の間はどのようであったか、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

質問11 あなたはたばこを吸いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 吸わない

2 毎日吸っている

3 時々吸う日がある

4 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない

1日に平均して何本くらい吸いますか。

1 10本以下

2 11~20本

3 21~30本

4 31本以上

20歳未満の方は質問終了です。

質問12 あなたは過去1年間に、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）を受けたことがありますか。

注：次のようなものは健診等には含まれません。
がんのみの検診、妊産婦検診、
歯の健康診査、
病院や診療所で行う診療としての検査

1 ある 2 ない → 補問12-6へ

補問12-1 どのような機会に健診等を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。また、その中で最後に受けた健診等の番号についても番号記入欄に記入してください。

※ 1～3の各機関が指示する医療機関で受けた場合は、それぞれの機関の番号に○をつけてください。

- 1 市区町村が実施した健診
- 2 勤め先、又は健康保険組合等が実施した健診
- 3 学校が実施した健診
- 4 人間ドック（上記1～3以外の健診で行うもの）
- 5 その他

最後に受けた健診等 → 番

【以後、最後に受けた健診等についてお伺いします。】

補問12-2 健診等の結果、何らかの指摘を受けましたか。（健診等の結果にあわせて書面に記載されている場合を含む。）

1 はい 2 いいえ

<健診結果の記載例>

血圧が高めなので塩分の摂取を控えましょう。
再検査を受けてください。
医療機関を受診してください。 など

質問13へ

→ **補問12-3** 健診等の結果が出た後、生活習慣の改善に関して専門家（医師、保健師、又は管理栄養士等）のアドバイス（保健指導）を受けるように勧められましたか。

1 はい 2 いいえ

その後、保健指導を受けましたか。

1 はい 2 いいえ

→ **補問12-4** 健診等や保健指導を受けたことをきっかけに、自分の健康管理に注意を払うようになりましたか。

1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

補問12-5へ

補問12-5 最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。

1 はい 2 いいえ

(再検査・精密検査目的の受診を除く。)

その後、医療機関を受診しましたか。

1 はい 2 いいえ

【補問12-6は質問12で「2 ない」と答えた方のみお答えください。】

補問12-6 それは、どのような理由で受けなかったのですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 01 知らなかったから | 08 健康状態に自信があり、必要性を感じないから |
| 02 時間がとれなかったから | 09 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから |
| 03 場所が遠いから | 10 結果が不安なため、受けたくないから |
| 04 費用がかかるから | 11 めんどうだから |
| 05 検査等(採血、胃カメラ等)に不安があるから | 12 その他 |
| 06 その時、医療機関に入通院していたから | |
| 07 毎年受ける必要性を感じないから | |

※ 質問13、補問13-1のがん検診については、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）の中で受診したものも含まれます。

質問13 あなたは過去1年間に、下記のがん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- 1 胃がん検診
(バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡(胃カメラ、ファイバースコープ)による撮影など)
- 2 肺がん検診(胸のレントゲン撮影や喀痰(かたん)検査など)
- 3 子宮がん検診(子宮の細胞診検査など)
- 4 乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波エコー検査など)
- 5 大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)
- 6 その他()
- 7 受けていない

20 歳以上の**女性**の方

※ 質問13を回答いただいた方もお答えください。

補問13-1 あなたは過去2年間に、下記のがん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- 1 子宮がん検診(子宮の細胞診検査など)
- 2 乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波エコー検査など)
- 3 1~2は受けていない

資料12

様式第1号（申出書）

平成26年11月21日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人滋賀医科大学

社会医学講座公衆衛生学部門

教授 三浦 克之



国民生活基礎調査に係る調査票情報の提供について（申出）

標記について、統計法（平成19年法律第53号）第33条の規定に基づき、
別紙のとおり調査票情報の提供の申出を行います。

(別 紙)

1 統計調査の名称

国民生活基礎調査（基幹統計「国民生活基礎統計」を作成するための調査）

2 調査票情報の利用目的

厚生労働省の補助金を受けて行う「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010（H25-循環器等（生習）－指定－022）」の一環として、国民生活基礎調査を我々が「2010 年国民健康栄養調査対象者の追跡開始（NIPPON DATA2010）と NIPPON DATA80/90 の追跡継続に関する研究（H22-循環器等（生習）－指定－017）」において作成した NIPPON DATA2010 研究のベースラインデータセットに突合したうえで、NIPPON DATA2010 対象者における社会的要因と生活習慣、循環器疾患危険因子との横断的関連分析を行うことにより、現代社会における社会的要因からみた循環器疾患要因を明らかにすることを目的とする。

なお、NIPPON DATA2010 は、平成 22 年国民健康・栄養調査に参加した 20 歳以上の男女を対象とした循環器疾患等の生活習慣病の発症、死亡についての追跡調査である。NIPPON DATA2010 のベースラインデータセットは、平成 22 年国民健康・栄養調査と並行して実施した生活習慣に関する問診や心電図検査結果、血液検査結果、尿検査結果および、これに対象者の同意を得て突合した平成 22 年国民健康・栄養調査結果を含む。

利用範囲は、平成 22 年国民健康・栄養調査の調査地区が、平成 22 年国民生活基礎調査において介護票調査、所得票調査、貯蓄票調査に該当しなかった調査地区よりサンプリングされたことより、平成 22 年国民健康・栄養調査に参加した者が含まれる平成 22 年国民生活基礎調査の世帯票および健康票の調査票情報の利用を申出する。

3 調査票情報の利用者の範囲

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	教授 三浦克之
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	准教授 藤吉 朗
独立行政法人国立健康・栄養研究所国際産学連携センター	センター長 西 信雄
大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座	教授 由田克士
人間総合科学大学健康栄養学科	准教授 奥田 奈賀子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	特任助教 宮川尚子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	助教 高嶋直敬

4 利用する調査票情報の名称及び範囲

- | | |
|-----------|--|
| (1) 名称 | 国民生活基礎調査
(世帯票、健康票) |
| (2) 年次等 | 平成 22 年 |
| (3) 地域 | 平成 22 年国民健康・栄養調査における調査地区
調査地区番号は別紙の通り（別紙以外の地域を利用しない。） |
| (4) 属性的範囲 | 20 歳以上 |

5 利用する調査事項及び利用方法

<調査事項>

世帯票

都道府県番号、地区番号、単位区番号、世帯番号、世帯員番号

世帯の状況

質問1 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方の人数

質問3 お住まいの住居の種類と建て方

質問4 お住まいの住居の室数と床面積

質問5 5月中の家計支出総額

補問5-1 育児にかかった費用

補問5-2 別居している親への仕送りの状況、別居している子への仕送りの状況

世帯員の状況

質問1 最多所得者

質問2 世帯主との続柄

質問3 性

質問4 生年月

質問5 配偶者の有無

質問6 医療保険の加入状況

質問7 公的年金・恩給の受給状況

質問10 教育

質問11 公的年金の加入状況

質問12 別居している子の有無

質問13 5月中の仕事の状況

質問15 就業開始時期

質問16 仕事の内容

質問17 自営の別

補問17-2 企業規模

健康票

都道府県番号、地区番号、単位区番号、世帯番号、

質問1 出生年月

質問2 入院あるいは入所中の有無

質問3 自覚症状の有無

補問3-1 自覚症状及び最も気になる症状

質問4 通院の有無

補問4-1 通院内容及び最も気になる傷病名

質問6 健康上の問題で日常生活への影響の有無

補問6-1 影響される日常生活

質問8 健康状態について

質問10 以下の質問についての過去一か月間の状況

質問12 健康診断等の受診の有無

補問12-1 健康診断の受診機会及び最後に受けたもの

質問13 受診したがん検診の内容

補問13-1 婦人科健診の受診内容

(都道府県番号、地区番号、単位区番号、世帯番号、世帯員番号、出生年月はNIPPON DATA2010 にリンケージする際のキーとしても使用する)

<利用方法>

上記3の利用者が、下記7の各利用場所において、上記<調査事項>を用いて分析を行う。集計様式は別添の通り。なお、分析は各利用者が専門性を持って実施できるよう、各研究機関・研究室で行うこととした。分担を下記に示す。

○滋賀医科大学 三浦克之、藤吉 朗、宮川尚子 高嶋直敬

- ・世帯状況による脳卒中・心筋梗塞の初発症状についての知識 (正解数)
(別添の結果表 1)
- ・住居の室数、床面積による身体活動量指数 (別添の結果表 3)
- ・世帯の家計支出 (仕送り額を除く) による平均身体活動量指数 (別添の結果表 4)
- ・配偶者の有無と、高血圧の原因についての知識 (正解数) (別添の結果表 5)
- ・最近1か月の就業状況と身体活動量指数 (別添の結果表 11)
- ・職業分類と身体活動量指数 (別添の結果表 12)
- ・自営・雇用の形態別の心筋梗塞・脳卒中の発症要因についての知識 (正答数)
(別添の結果表 13)
- ・企業規模別の心筋梗塞・脳卒中の発症要因についての知識 (正答数) (別添の結果表 14)
- ・自覚症状の有る者における症状別の身体活動量指数 (別添の結果表 15)
- ・最も気になる症状別の身体活動量指数 (別添の結果表 16)
- ・治療中の傷病別の身体活動量指数 (別添の結果表 17)
- ・最も気になる治療中の傷病別の身体活動量指数 (別添の結果表 18)
- ・現在の健康上の問題別の身体活動量数 (別添の結果表 19)
- ・現在の健康状態別の身体活動量指数 (別添の結果表 20)
- ・うつ尺度 (K6 得点) と身体活動指数 (別添の結果表 23)

○国立健康・栄養研究所 国際産学連携センター 西 信雄

- ・医療保険の加入状況による日常生活動作が自立している割合 (別添の結果表 6)
- ・教育と身体活動指数 (別添の結果表 7)
- ・年金受給状況と日常生活動作が自立している割合 (別添の結果表 8)

○大阪市立大学 由田 克士

- ・住居の状況による、身体活動量指標および大腿骨頸部骨折既往の状況
(別添の結果表 2)
- ・女性の子供の有無 (同居の子と別居の子の有無) と大腿骨骨折既往割合 (%)
(別添の結果表 10)

○人間総合科学大学 健康栄養学科 奥田奈賀子

- ・公的年金加入状況と脳卒中・心筋梗塞の初発症状についての知識 (正解数)
(別添の結果表 9)
- ・過去1年間の健診受診の有無と高血圧の原因についての知識 (正解数)
(別添の結果表 21)

- ・過去1年間のがん検診受診の有無と、脳卒中の初発症状についての知識（正解数）
（別添の結果表 22）

6 利用期間

承諾日から平成 27 年 5 月 31 日まで

7 利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

（1）滋賀医科大学（三浦、藤吉、宮川、高嶋）

①利用場所

滋賀医科大学アジア疫学研究センター個人情報管理区域内

②利用する環境、保管場所及び管理方法

監視カメラ及び入退室管理システムによって入退室が管理されているアジア疫学研究センターセキュリティエリア（個人情報管理区域）内に限定して利用し、それ以外の持ち出しを禁止する。また、入退室管理システム（個人 IC カード及び監視カメラ）や上記 3 の上記①の利用者が個人情報管理区域に立ち入る職員をチェックする。

なお、セキュリティエリア内の研究データ用ネットワークはクライアント管理・監視装置、サーバー及び、18 台のクライアント（全てワイヤーで固定されている。）からなる外部ネットワークから隔離された専用ネットワーク環境となっている。また、クライアントはアンチウイルスソフト（ESET）の導入、最新のセキュリティパッチの適応などのセキュリティホール対策の導入、ID、パスワード認証及び、スクリーンロックの導入が図られている。また、使用する端末は常時、アクセスログを取って漏洩防止及び不正使用防止等の処置を講じている。

調査票情報（転写 CD-R）は利用時以外、施錠可能なボックスに施錠の上、保管し、保管管理責任者は社会医学講座教授（アジア疫学研究センターセンター長）である三浦克之とする。

中間生成物はすべてハードウェア暗号化 USB メモリーに格納し、サーバー及びクライアントに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない。これらの情報を利用しないときは当該 USB メモリーをクライアントから外し、施錠可能なボックスに施錠の上保管する。保管管理責任者は社会医学講座教授（アジア疫学研究センターセンター長）である三浦克之とする。

（2）独立行政法人国立健康・栄養研究所（西）

①利用場所保管場所及び管理方法

施錠可能な独立行政法人国立健康・栄養研究所 国際産学連携センター長室内

②利用する環境、保管場所及び管理方法

施錠可能な上記①の利用場所に限定して利用し、それ以外の持ち出しを禁止する。また、上記 3 の上記①の利用者が室内に立ち入る者をチェックする。

研究室のパソコン 1 台（ワイヤーで固定されている。）を用い、作業を行う時は、外部（研究所内 LAN も含む）との接続を物理的に遮断した状態で利用する。また、利用するパソコンには、アンチウイルスソフト（ウイルスバスター クラウド）を導入、最新のセキュリティパッチの適用などのセキュリティホール対策、ID・パスワード対策、スクリーンロック等の漏洩防止等の措置を講ずる。

調査票情報（転写 CD-R）は利用時以外、施錠可能なボックスに施錠の上、保管